

主な出来事

【内政】

- ルアンダ州封鎖の期限が10月8日まで延長された(当館注:10月に入り11月7日まで延長)。
- 9月8日、今年中に実施される予定であった地方選挙の延期が決定された。
- NGO、宗教団体、有識者、経済界を代表するメンバー合計45名から構成される経済社会諮問委員会が設立された。
- 9月26日、ロウレンソ政権の3周年記念日に雇用を求める若者を中心に数百人規模の抗議デモが実施された。

【外交】

- 9月8日、第5回アンゴラ・EU閣僚会議がビデオ会議で開催された。
- 9月11日、アンゴラ外務省において日本政府による小型救急車18台の供与のためのE/Nの署名が行われた。
- 9月16日、IMFによる拡大信用供与(EFF)のサード・レビューが完了し、7億6,500万米ドルの追加融資が承認された。
- 9月25日、ロウレンソ大統領は習近平国家主席と電話首脳会談を実施した。

【経済】

- フィッチ・レーティングスは、アンゴラの信用格付をB-からCCCに引き下げた。
- Moody'sは、アンゴラの信用格付をB3からCaa1に引き下げた。
- ソナンゴルの2019年の純利益は、約1億2,500万米ドルであり、2018年の約3億1,600万クワンザから大幅に減少した。

内政

1. COVID-19 関連措置

(1) 9月8日、アンゴラ人および外国人居住者のアンゴラへの再入国や労働査証を所持する外国人の入国等を例外として、国境の封鎖が維持された([AP 9/8](#))。

(2) 9月8日、ルアンダ州の封鎖が10月8日まで延長された(当館注:10月に入り11月7日まで延長)([AP 9/8](#))。

(3) 9月4日、外国人が所有するアンゴラの査証や

身分証明書は期限が過ぎても12月31日までは有効とする措置が決定された([VA 9/8](#))。

(4) 9月8日、国内線の定期航空便を9月14日から、国際線の定期航空便を9月21日から再開する旨が発表された([JA 9/10](#))。

2. その他 COVID-19 関連

(1) 9月30日時点における国内の累計感染者数は4,972名(内、累計死者数183名、累計治癒者数1,941名)([AP 9/30](#))。

(2) 9月24日、クアンド・クバンゴ州において最初の感染者が確認された。ナミベ州を残して国内全土に感染が拡大した(当館注:10月に入りナミベ州においても感染確認)[\(AP 9/24\)](#)。

(3) 9月10日、中国企業BGI(Beijing Genomics Institute)社が新設したヴィアナ市検査施設の開設式典が開催された。同施設は、アンゴラで最も検査規模が大きく、一日当たり6,000件(3,000件のPCR検査および3,000件の抗体検査)の検査能力を持つ。今後、同様の検査施設がウアンボ州、ルンダ・ノルテ州、ウイジェ州においても開設される予定である[\(VA 9/10\)](#)。

### 3. 警察官による医者殺害事件

(1) 9月1日、車内でマスクを着用せずに運転していた医者が警察署に連行された後、警察官らに暴行を受け死亡するという事件が発生した。なお、内務省は警察官による暴行を否定しており、尋問中に突然倒れ、病院に向かう途中で死亡したと説明している[\(VA 9/4\)](#)。

(2) 9月12日、警察官に暴行を受け医者が死亡した事件を発端に、ルアンダ市において数百万人規模の抗議デモが行われた[\(RFI 9/12\)](#)。

### 4. 所得税の新制度適用

9月1日、5月に改正された所得税の新制度が適用され、非課税対象枠が3万4,450クワンザ/月から7万クワンザ/月まで拡大された。また、これまでは、高所得者への税率が23万クワンザ/月を超える所得に対して15%と限られていたのに対し、富裕層への課税率が最大25%まで拡大され、細分化された[\(JA 9/1\)](#)。

### 5. 地方選挙の延期

9月8日、年内に実施される予定であった地方選挙の延期が決定された。実施日程は未定であり、準備が整い次第、実施される見込みである。[\(JA 9/9\)](#)。

### 6. カビンダ州における戦闘

(1) 9月13日、カビンダ独立戦線(FLEC)とアン

ゴラ国軍の戦闘が発生し、4名の死亡が確認された。[\(DW 9/14\)](#)。

(2) 9月21日、カビンダ独立戦線(FLEC)はアンゴラ国軍の襲撃により、FLEC軍人2名、アンゴラ国軍軍人3名および民間人1名が死亡したと発表した[\(DW 9/22\)](#)。

### 7. 「9億米ドル事件」関連

9月18日、アンゴラ検察局はカルロス・サオ・ヴィセンテ前AAA保険取締役社長によるマネー・ローンダリング疑惑(「9億米ドル事件」)を受け、妻であるイレーネ・ネト/アゴスティニョ・ネト前大統領娘の銀行口座が凍結されたことを確認した[\(NJ 9/18\)](#)。

### 8. 経済社会諮問委員会の設立

コロナ不況下において経済社会的な解決策の模索が喫緊の課題となる中、国民の生活向上のために最善を尽くすには多様な分野で活躍する専門家の協力が不可欠であるとの認識から、経済社会諮問委員会が設立された。同委員会は、NGO、宗教団体、有識者、経済界を代表するメンバー合計45名から構成される[\(JA 9/30\)](#)。

### 9. 大統領府文官長の不正疑惑

(1) 9月21日、ポルトガルメディア「tvi24」は、エデルトルーデス・コスタ大統領府官房長の所有企業であるEMFC社が、公共事業を優先的に受注していると報じた。また、職務に相応しない預金の存在(ポルトガルの銀行口座に2,000万ユーロの預金)やポルトガルに250万ユーロ相当の自宅及び13万ユーロ相当のボート、パナマに高級アパートを所有していると非難した[\(NJ 9/24\)](#)。

(2) 9月24日、上記の不正疑惑を受け、エデルトルーデス・コスタ大統領府官房長はロウレンソ大統領に辞職願を提出した[\(AO 9/25\)](#)。

## 10. 現政権樹立3周年記念日に抗議デモ実施

(1) 9月26日、ロウレンソ政権は3周年を迎えたが、2020年はCOVID-19や油価の下落による苦難の年となった。また、同日、雇用を求める若者を中心に数百人規模の抗議デモが実施された([NJ 9/27](#))。

(2) 9月26日の抗議デモに参加した13名が逮捕された。ローカルNGOである「Friends of Angola」は警察官による暴力行為を非難しているが、ルアンダ州警察は暴力行為は無かったと否定している([DW 9/28](#))。

## 11. 強制加入の社会保障制度の確立

9月24日、閣議経済委員会は、農漁業および商業分野等に従事する被用者を対象に、強制加入の社会保障制度を確立した。また、60歳以上あるいは納付期間が420か月間以上の被用者は誰でも、年金の受給権利が発生することが決定された([EX 9/25](#))。

## 12. ヴィアナ市における土地分配

ルアンダ州ヴィアナ市役所は、スラムに住む合計1.8万の困窮世帯を対象に土地を分配する旨を発表した([NJ 9/28](#))。

## 13. ユニバーサル教会の強制閉鎖

ユニバーサル教会司教による汚職および脱税事件を受け、裁判所は、国内の全てのユニバーサル教会(合計211堂)を強制的に閉鎖することを決定した([NJ 9/21](#))。

## 外交

### 1. COVID-19 関連支援

(1) 9月11日、国連人口基金(UNFPA)は、ウイラ州公衆衛生・風土病管理対策局に対し、マスク220箱、医療用手袋7箱、消毒液45箱、蛇口付バケツ60個等を寄贈した([AP 9/11](#))。

(2) エジプト政府は、アンゴラ政府に対し、約1.5トンの感染予防物資(400万米ドル相当)を寄贈した。マスク、医療用手袋、防護服等が含まれてい

た([AP 9/11](#))。

### 2. 日本政府による救急車の供与

9月11日、澤田駐アンゴラ日本国大使とドミンゴス・クストディオ・ヴィエイラ・ロペス外務副大臣との間で、小型救急車18台等の保健・医療関連機材供与(供与額約3億円)のための無償資金協力(「経済社会開発計画」)に関するE/Nの署名が行われた。本計画を通じて、アンゴラの感染症対策及び保健・医療体制の強化に寄与することが期待される([外務省HP 9/14](#))。

### 3. 第5回アンゴラ・EU閣僚会議の実施

(1) 9月8日、第5回アンゴラ・EU閣僚会議がビデオ会議で開催され、2021年の上半期にアンゴラ・EUビジネスフォーラムを実施することが決定された([JA 9/9](#))。

(2) 同会議において、COVID-19の社会経済的影響に関する意見交換が行われた。また、ギニア湾の海賊対策を含む海上安全保障分野等における協力の可能性が示唆された([JA 9/10](#))。

### 4. アンゴラ・インド二国間合同委員会の開催

9月7日、第1回アンゴラ・インド二国間合同委員会の開催がビデオ会議で開催され、非感染性疾患の薬剤の製造等の保健分野における協力関係の強化が示唆された([VA 9/8](#))。

### 5. IMFによるサード・レビューの実施

(1) 9月16日、IMFによる拡大信用供与(EFF)のサード・レビューが完了した。アンゴラ政府はコロナ不況を受け追加融資を要請していたが、7億6,500万米ドルの追加が承認された。また、トランシェの支払スケジュールに関し、2018年12月に約10億米ドルが拠出されて以降、半年ごとに約5.5億米ドルが拠出される予定であったが、今般、緊急資金として一度に10億米ドルのトランシェが支払われた([IMF 9/18](#))。

(2) 債務のリプロファイリングおよび非石油収入の拡大による財政調整を前提に、アンゴラの公的債

務はサステナブルであると評価された。2020 年末に公的債務残高(対 GDP 比)は 123%となりピークを迎えた後、徐々に低下し、2025 年には 58%まで下がる見込みである([IMF 9/18](#))。

## 6. 世銀新代表のアンゴラ訪問

9 月 28 日、ジャン・クリストフ・キャレット世界銀行アンゴラ・コンゴ(民)・ブルンジ事務所カンントリーダイレクターが着任後初めてアンゴラを訪問し、保健大臣、教育大臣、総務大臣、電力・水大臣、社会行動・家族・女性大臣と会談を実施した([JA 9/29](#))。

## 7. ロウレンソ大統領の第 75 回国連総会出席

9 月 22 日、ロウレンソ大統領は、第 75 回国連総会において演説を行った。COVID-19 の影響により経済再生が困難な状況にあることを強調した上で、G20 の債務返済猶予イニシアティブ(DSSI)や国連の支援に感謝の意を示した([AP 9/23](#))。

## 8. ポルトガル語圏諸国共同体(CPLP)外相会合

9 月 28 日、テテ・アントニオ外務大臣は、第 75 回国連総会の折にビデオ会議で開催されたポルトガル語圏諸国共同体(CPLP)閣僚レベル会合に出席し、COVID-19 の影響や対策に関する意見交換を行った([AP 9/28](#))。

## 9. アンゴラ・アラブ首長国連邦関係

(1) 9 月 15 日、ビクトル・フランシスコ・ドス・サントス工業・商務大臣は、シェイク・アフマド・ビン・サイド・アル・マクトゥーム／エミレーツグループ総裁と会談し、農業分野においてアラブ首長国連邦と協力強化する意向を示した([AP 9/15](#))。

(2) 9 月 14 日、アンゴラ開発銀行(BDA)とアラブ首長国連邦政府(UAE)は、経済特区(ZEE)において UAE 企業が製造するトラックの購入に関する MOU を締結した。BDA は国内の農家向けにトラック購入のための融資を拠出する予定である([AP 9/15](#))。

## 10. 米国との投資関係の強化

9 月 22 日、民間投資・輸出促進庁(AIPEX)は、米国

のカウンターパートであるセレクト USA と投資の促進に関する MOU を締結した。ビジネス環境に関する情報交換を通じて両国の投資家を支援する狙いがある([米大 HP 9/23](#))。

## 11. アンゴラ・中国関係

(1) 9 月 14 日、ゴン・タオ駐アンゴラ中国大使はアジャニ・コスタ文化・観光・環境大臣を表敬した。両者は、文化・観光・環境省に統合される前の旧省庁との間で締結されていた覚書を改定する必要性を確認した([VA 9/15](#))。

(2) 9 月 25 日、ロウレンソ大統領は習近平国家主席と電話首脳会談を実施した。ロウレンソ大統領は、10 月 1 日の中国の建国記念日に祝意を表するとともに、COVID-19 対策をはじめとする支援に謝意を伝え、ワクチンを含む様々な分野で協力を強化したいとの意向を示した。また、習近平国家主席は支援を継続し、COVID-19 対策強化のために医療専門家と疫学者をアンゴラに派遣すると述べた([JA 9/27](#))。

## 12. 対中債務返済繰延関連

(1) 9 月 18 日、ヴェラ・ダヴェス財務大臣は、アンゴラの対中債務は約 201 億米ドルであり、その内 100 億米ドルはソナンゴルの資本増強のための融資であったと発表した。また、対中債務の 2020 年返済分合計約 27 億米ドル(償還費 78.8%、利払費 21.2%)に関しては、最大 8 年間で返済される予定だと述べた([AP 9/19](#))。

(2) 9 月 28 日、汪文斌／中国外交部報道官は、定例会見において、アンゴラ政府が IMF の緊急融資制度を申請するにあたり中国輸出入銀行がアンゴラ政府を支援するなど、中国の金融機関はアンゴラ側と密に連絡を取っていると述べた。また、近いうちに債務返済繰延に関する協定が締結される見込みだと言及した([中国外交部 HP 9/28](#))。

## 13. コンゴ(民)との安全保障分野での協力強化

9 月 16 日、アンゴラとコンゴ(民)の内務省は、国境における人々の移動の監視に関する 3 つの協定を締結した([JA 9/18](#))。

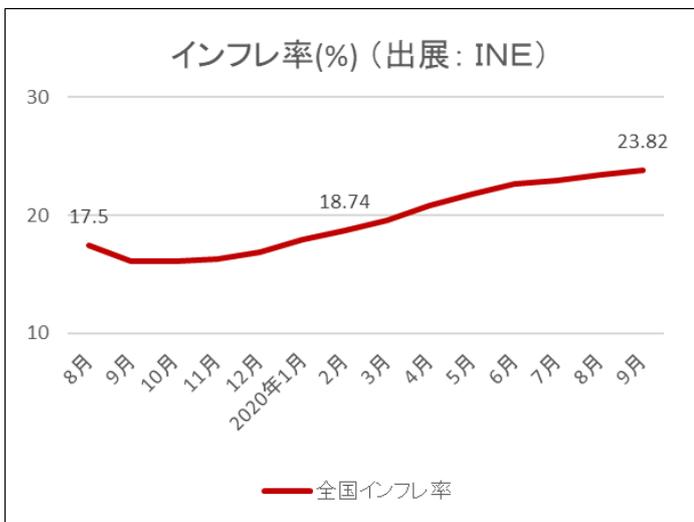
# 経済

## 1. 主要経済指標

### (1) 物価

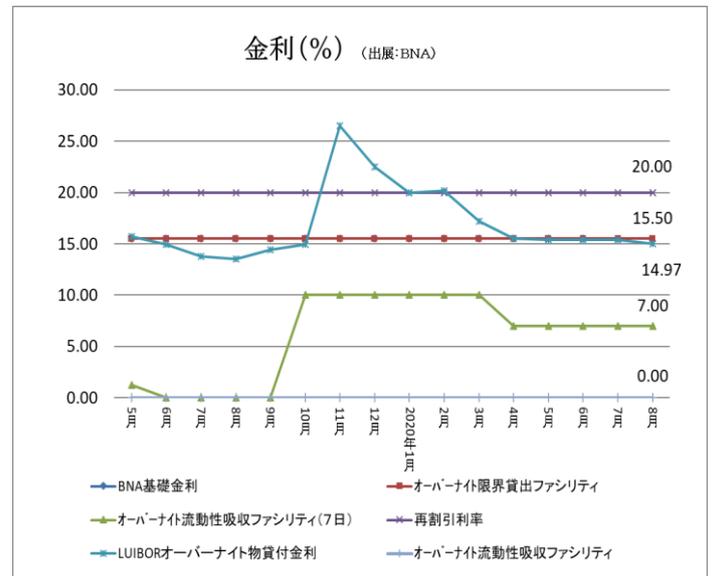
国家統計院 (INE) が発表したアンゴラ全国版の8月期年間インフレ率は、23.82%。月間物価上昇率は1.79%。

最も物価上昇に影響を与えたのは、食料品・非アルコール飲料 (0.98%)、衣類 (0.13%)、家具、家財、メンテナンス (0.12%)、モノ・サービス (0.17%)。



### (2) 金利

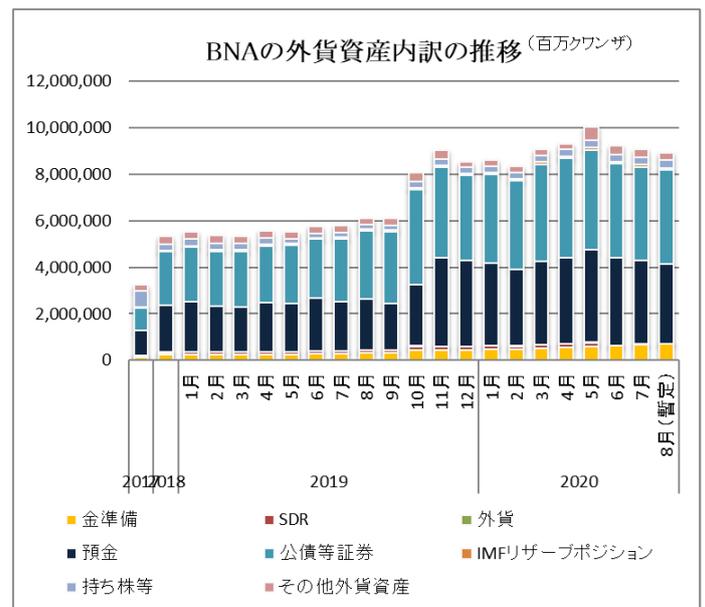
9月28日に金融政策委員会 (CPM) が開催され、外貨建て法定準備率を15%から17%に引き上げることが決定した。

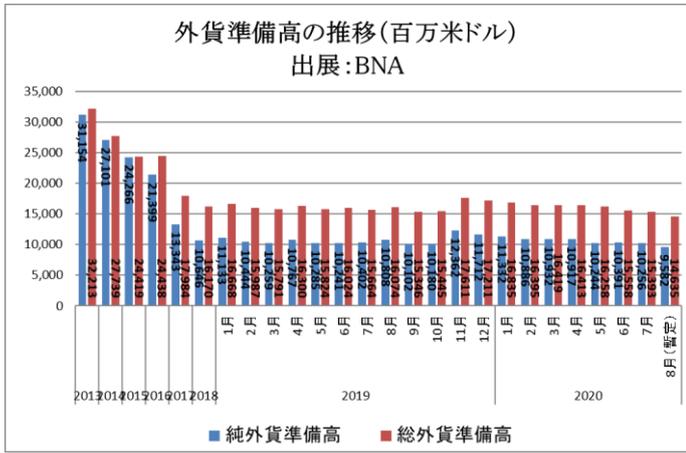


### (3) 為替市場

9月30日、為替相場は1USD=625.76401 AKZ で推移。

### (4) BNA 発表の外貨準備高統計

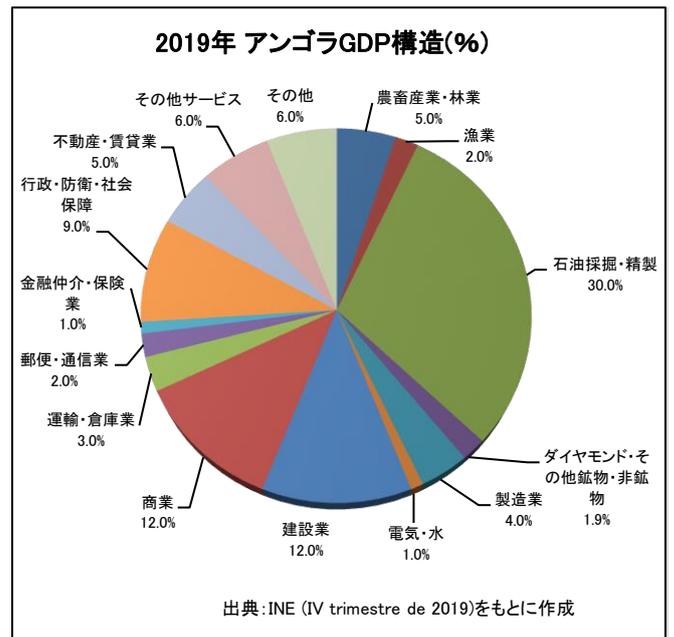
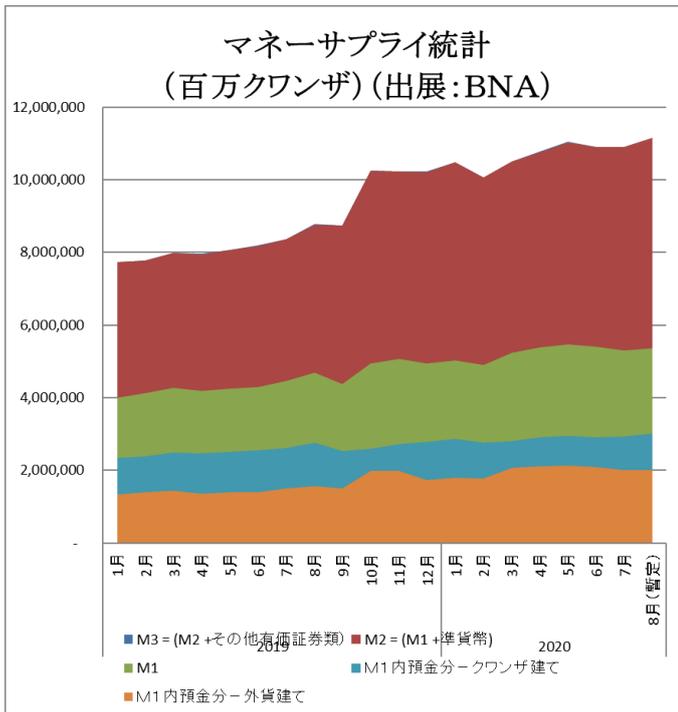




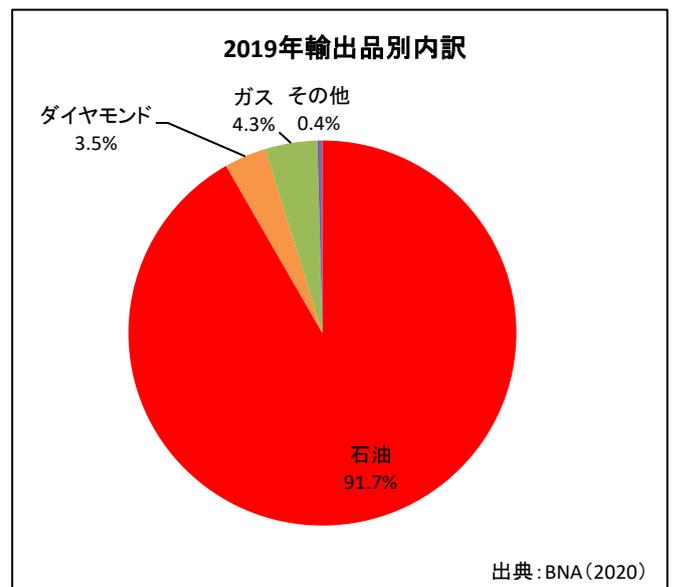
## (6) GDP及び成長率



## (5) マネーサプライ統計

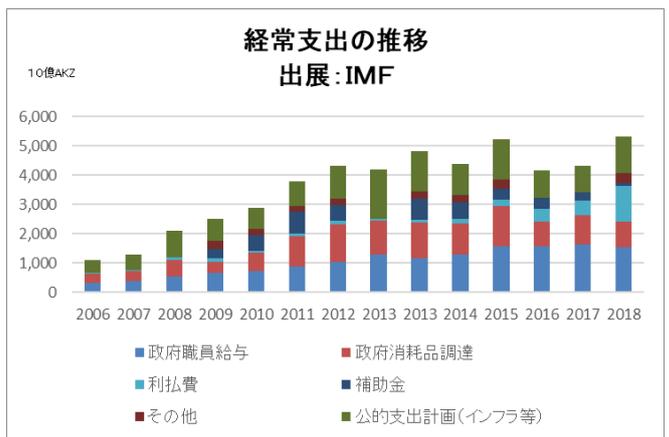
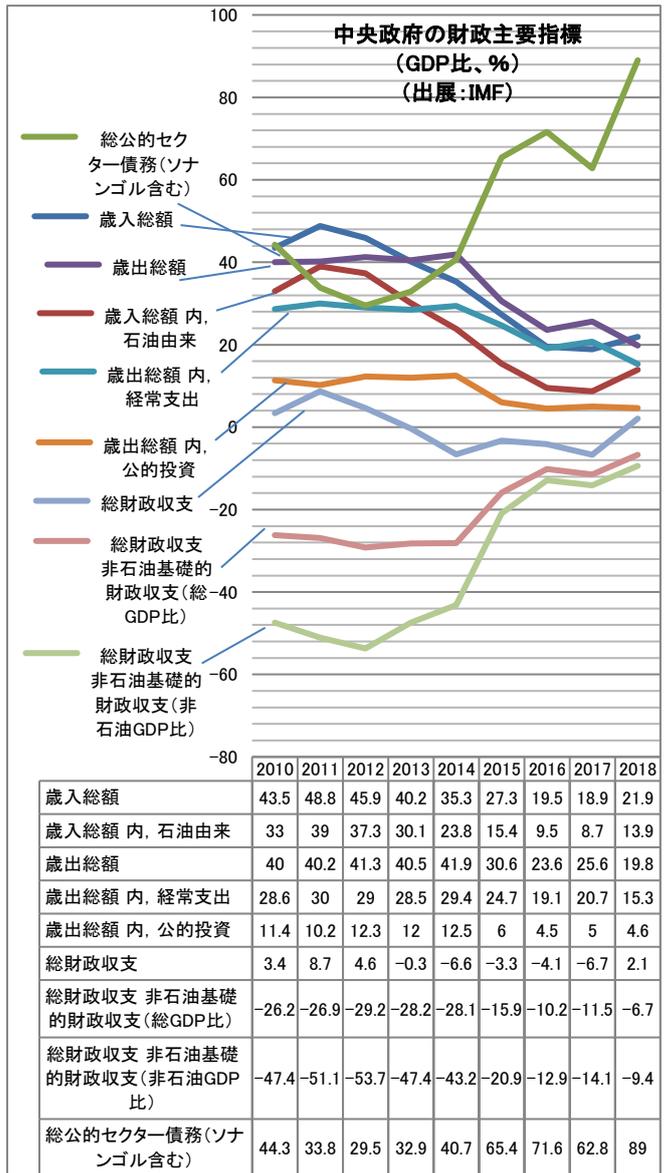
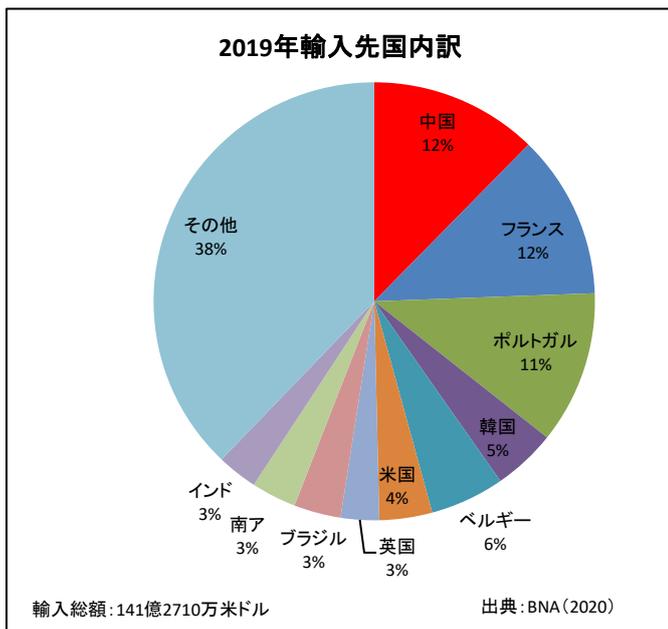
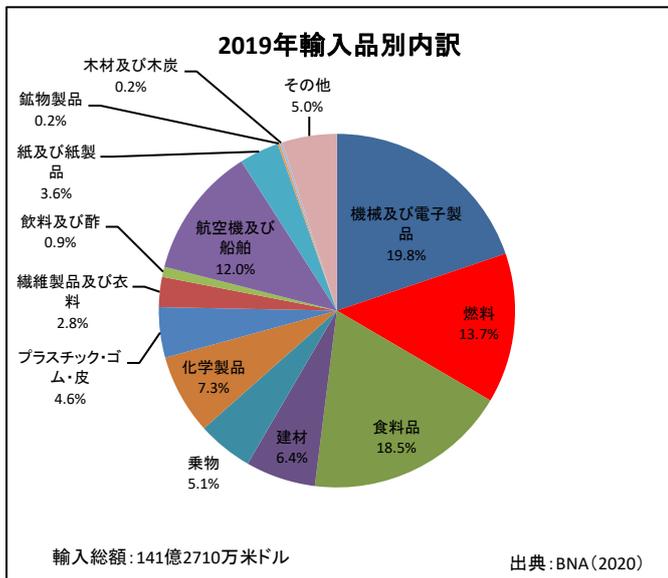
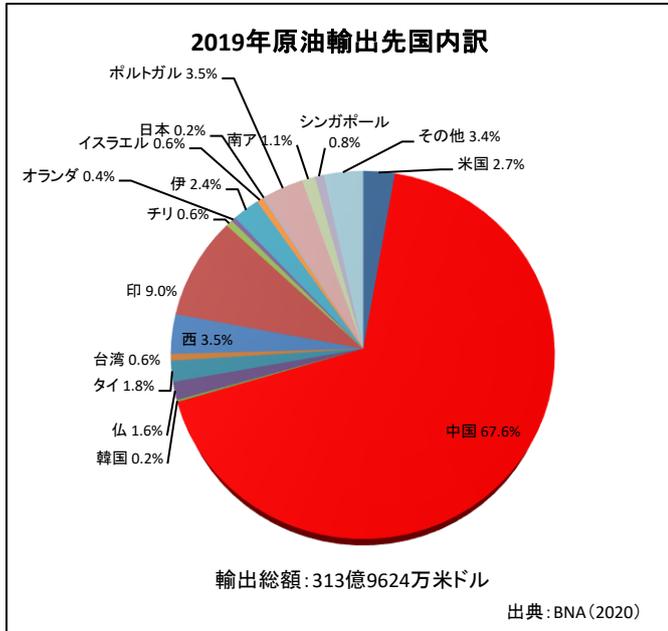


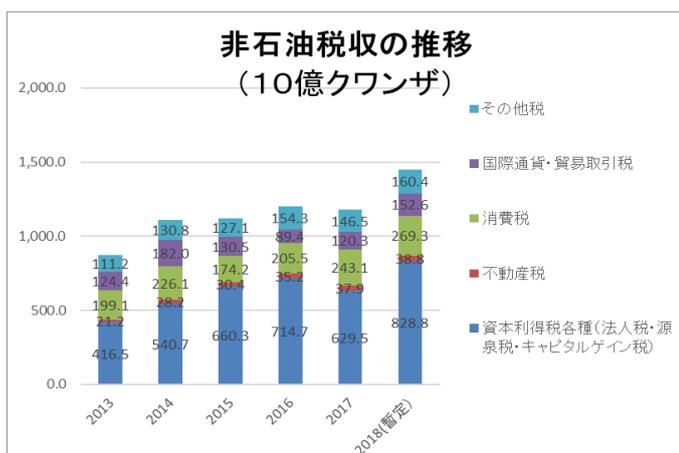
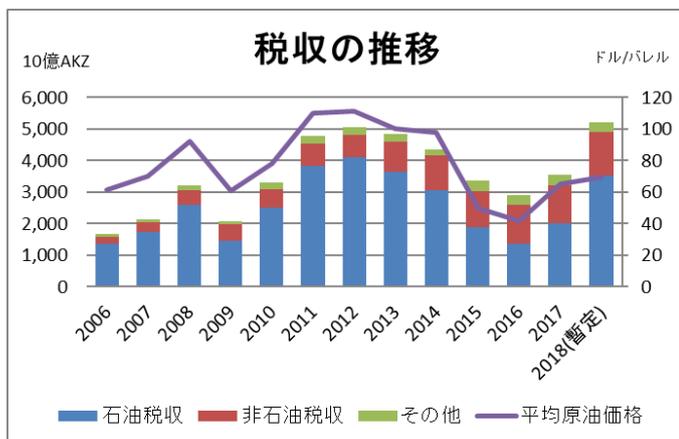
## (7) 主要貿易統計



2020年			百万クワンザ
6月	7月	8月(暫定)	
10,901,125	10,907,566	11,155,745	M3 = (M2 + その他有価証券類)
10,896,381	10,902,754	11,150,866	M2 = (M1 + 準貨幣)
5,407,681	5,299,487	5,364,286	M1
391,616	369,613	344,144	M1内現金等流通分
5,016,064	4,929,874	5,020,142	M1内預金分
2,915,452	2,920,475	3,006,501	M1内預金分-クワンザ建て
2,100,613	2,009,398	2,013,641	M1内預金分-外貨建て

(8) 財政主要統計





## 2. 大幅な景気後退、財政悪化予測

(1) 9月19日、フィッチ・ソリューションズは、2030年までアンゴラの公的債務残高(対GDP比)が100%以上にとどまる見込みだと言及した。2020年は118.2%、2021年は115%、2022年は116%と予測している([AN 9/20](#))。

(2) フォーカス・エコノミックスは、2020年の実質GDP成長率を-4.4%、2021年を0.6%と予測した([VA 9/28](#))。

## 3. 信用格付の低下

(1) フィッチ・レーティングスは、アンゴラの信用格付をB-からCCCに引き下げた。また、2020年のインフレ率を24%、原油生産量を130万バレル/日と予測した([VA 9/4](#))。

(2) Moody'sは、アンゴラの信用格付をB3からCaa1に引き下げた。金融機関における減損リスクが懸念されている([ME 9/14](#))。

## 4. インフォーマル市場への影響

10月15日、ジェンダーの観点からみる公共政策研究所(ASSOGE)は、「COVID-19がズンゲイラの生活にもたらす影響」と題する発表を行い、70%のズンゲイラ(頭に物をのせて売る女性商売人)の収入が減少していると発表した。また、警察官による「過剰な取り締まり」により、多くの人々が「商品の取り上げや罰金等の被害に遭っている」と述べた([NJ 9/15](#))。

## 5. 石油関連

(1) 8月の原油生産量は約121万バレル/日であり、7月よりも約2万4,000バレル/日増加した([EX 9/15](#))。

(2) アンゴラ政府は、契約の不履行等によりOdebrecht Oil and Gas Angola社が保有する第16油田鉱区における15%の権益を剥奪し、Totalに引き渡した([VA 9/24](#))。

(3) 8月19日、海外企業にサービスを発注する際の国外送金にかかる源泉徴収税が6.5%から15%に改正されたことにより、石油関連企業は操業コストが大幅に増加していると抗議していたことを受け、石油関連企業に関しては2021年まで増税を保留することが決定された([EX 9/25](#))。

(4) ソナンゴルの2019年の純利益は、約1億2,500万米ドルであり、2018年の約3億1,600万米ドルから大幅に減少した。油価は71米ドル/バレル(2018年)から64米ドル/バレル(2019年)に下落した([RE 9/29](#))。

## 6. カトカ・ダイヤモンド鉱山の操業一時停止

ルンダ・スル州のカトカ鉱山で3名のCOVID-19感染が確認されたことにより、操業が一時停止された([NJ 9/14](#))。

## 7. 保護貿易政策の推進

(1)、WTO加盟国は、アンゴラ政府による輸出多様化・輸入代替支援プログラム(PRODESI)をはじめとする食品の輸入規制を非難している。一方、国内では、少数企業によるモノポリーに歯止めをかけ、国内生産の増強を支える重要な政策だという見方が強

い([EX 9/11](#))。

(2) 商業セクターにおいて 15 社の企業が市場を独占しており、外資企業 (Atlas Group、Angoalissar、Nobel Group、Angorayan、Alimenta Angola、Newaco Group、Africana Discount、Dimassaba、Selmata、Anseba、Rayan Investment、Ros” Bien Comércio、AMT(Angola)、Zara General Trading、Heran) が大半を占める。国内企業は Kero と Candando のみである ([EX 9/11](#))。

## 8. クワンザ安の進行

3 月から 9 月までにクワンザ相場は対米ドルで 21%、対ユーロで 25.5% 下落した (3 月の公式レートは 492.63 クワンザ/米ドルであったが 9 月には 622.98 クワンザ/米ドルまで下落)。また、並行レートとの為替ギャップが拡大しており、9 月 12 日時点の並行レートは 785 クワンザ/米ドルである ([EX 9/12](#))。

## 9. アンゴラ・中国経済関係

(1) アンゴラ中央銀行 (BNA) のデータによれば、2020 年第 1 四半期に中国はアンゴラから約 38.5 億米ドル分 (原油輸出総額の約 66.9%) の原油を購入した。また、同時期の中国からアンゴラ石油セクターへの投資額は約 1 億 9,430 万米ドルであり、石油関連の海外投資の中で 3 番目に投資額が大きかった ([MH 9/10](#))。

(2) Unitel とファーウェイは、公立校を対象としたデジタル教育に関する MOU を締結した。ビエ州とウアンボ州においてパイロット事業の実施を予定している。また、2021 年には、生徒 480 名を対象に授

業を開始し、生徒用に 460 台のタブレット、教師用に 50 台のパソコン、教室に 50 台のプロジェクターが提供される予定である ([AP 9/15](#))。

## 10. ナミベ港開発事業への資金拠出の承認

9 月 11 日付大統領令により、ナミベ湾包括開発計画の実施に係る資金 3,900 万米ドルの拠出が承認された。同事業は、豊田通商および東亜建設工業の共同で実施され、2022 年までに完了する見込みである ([EX 9/16](#))。

## 11. TAAG 国際線におけるクワンザ取引停止

9 月 22 日、TAAG は、外貨の取得が困難になっていることから、その対策として外国からアンゴラに到着する国際線の航空券に関してはクワンザでの支払を受け付けない旨を発表した ([NAM 9/22](#))。

## 12. 装甲車組立工場の設立

9 月 25 日、ロシア・カナダの合併企業でありアラブ首長国連邦に本拠地置く Streit Group は、経済特区 (ZEE) に装甲車の組立工場を設立する旨を発表した。5,000 万米ドル規模の投資事業である ([JA 9/26](#))。

---

AA: All Africa、AC: アンゴラ華人報、AN:Ango Notícias、AO: Angola Online、A024:Angola 24 horas、AP: Angop、BB: Bloomberg、CK: Club-K、CRK: Correio Kianda、DN: Diario de Noticias、DV: Dinheiro Vivo、DW: Deutsche Welle、EG: E-Global、EIU: Economist Intelligence Unit、EN: Euro News、EX: Expansão、FT: Financial Times、FM: Forum Macao、JA: Jornal de Angola、JN: Jornal de Negocios、LS: Lusa、ME: Mercado、MH:Macau Hub、MR: Mining Review、MW: Mining Weekly、NAM: Noticias ao Minuto、NJ: Novo Jornal、OBS: Observador、OP: O País、PA: Portal de Angola、RE: Reuters、RFI: Radio France Internationale、VA: Ver Angola、VE: Valor Económico、VG: Vanguarda、VOA: Voice of America、XN: Xinhua Net